

下呂市農業委員会

【課題】

- 従来の農地パトロールは大きな紙の地図と「野帳」と呼ばれる農地一覧による非効率なものであった。
- 地図の作成と野帳に記入された判定結果の入力作業には相当な手間が掛かり、農業委員会事務局の大きな負担となっていた。



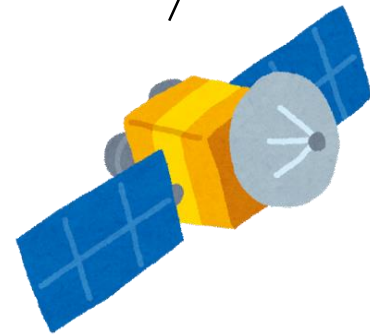
農地状況把握アプリ「ACTABA（アクタバ）」について

植物の成長の変化を人工衛星のセンサーがキャッチ！

明かな耕作地、荒廃農地をスクリーニングした地図をタブレットに表示

<参考>下呂市の場合… 35%以下 耕作地
60%以上 荒廃農地

A I 解析による
耕作放棄率の算出



<地図のイメージ>



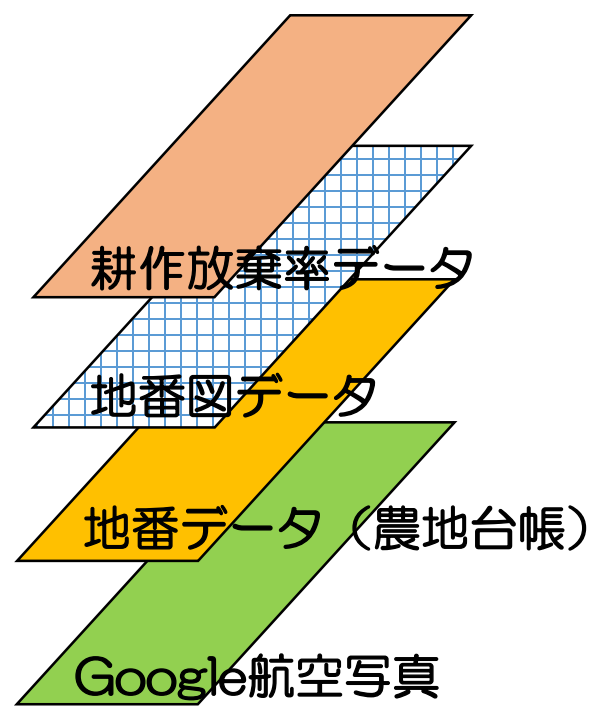
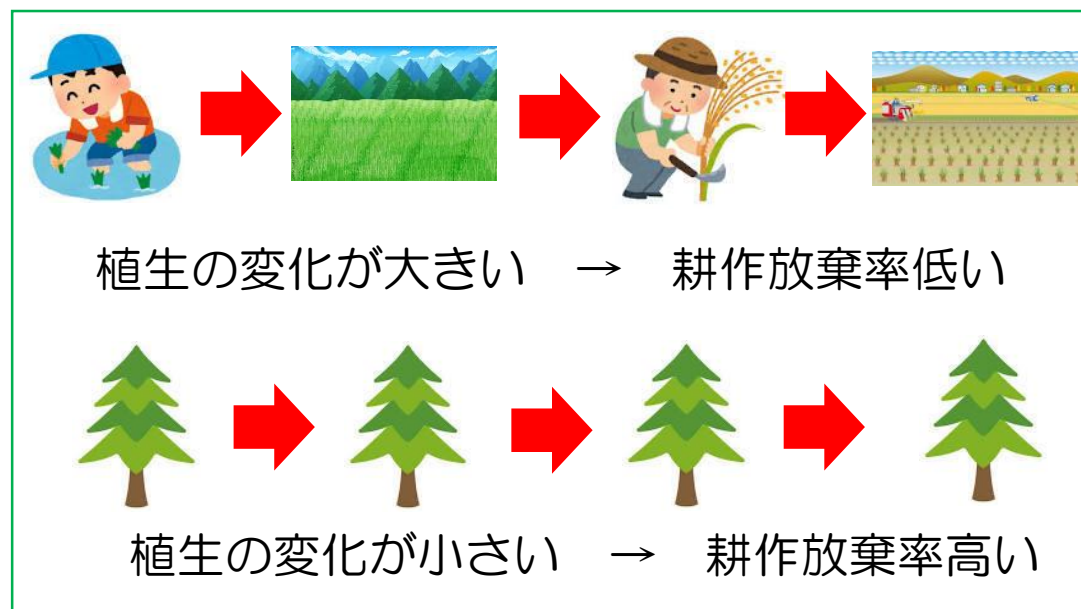
このスクリーニングで目視による確認を行う農地を大幅に削減

スピーディーな結果入力を実現



既存の農地台帳

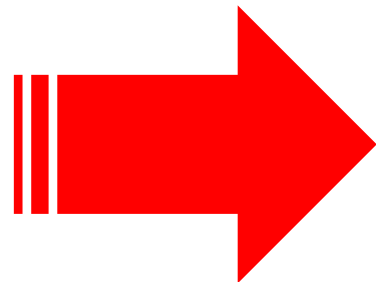
<耕作放棄率とは？>



農地状況把握アプリ「ACTABA（アクタバ）」について

- ◆ パトロールに要する時間が半分以下に！
- ◆ パトロールの準備と結果入力作業はほぼ無し！
- ◆ 客観的な農地の状況判断が可能となり、判断の個人差が解消！
- ◆ 国が推進する農業DX構想にも対応可能！
- ◆ 本来、農業委員会がやるべき「農地を活用した地域づくり」に専念することが出来るようになった。

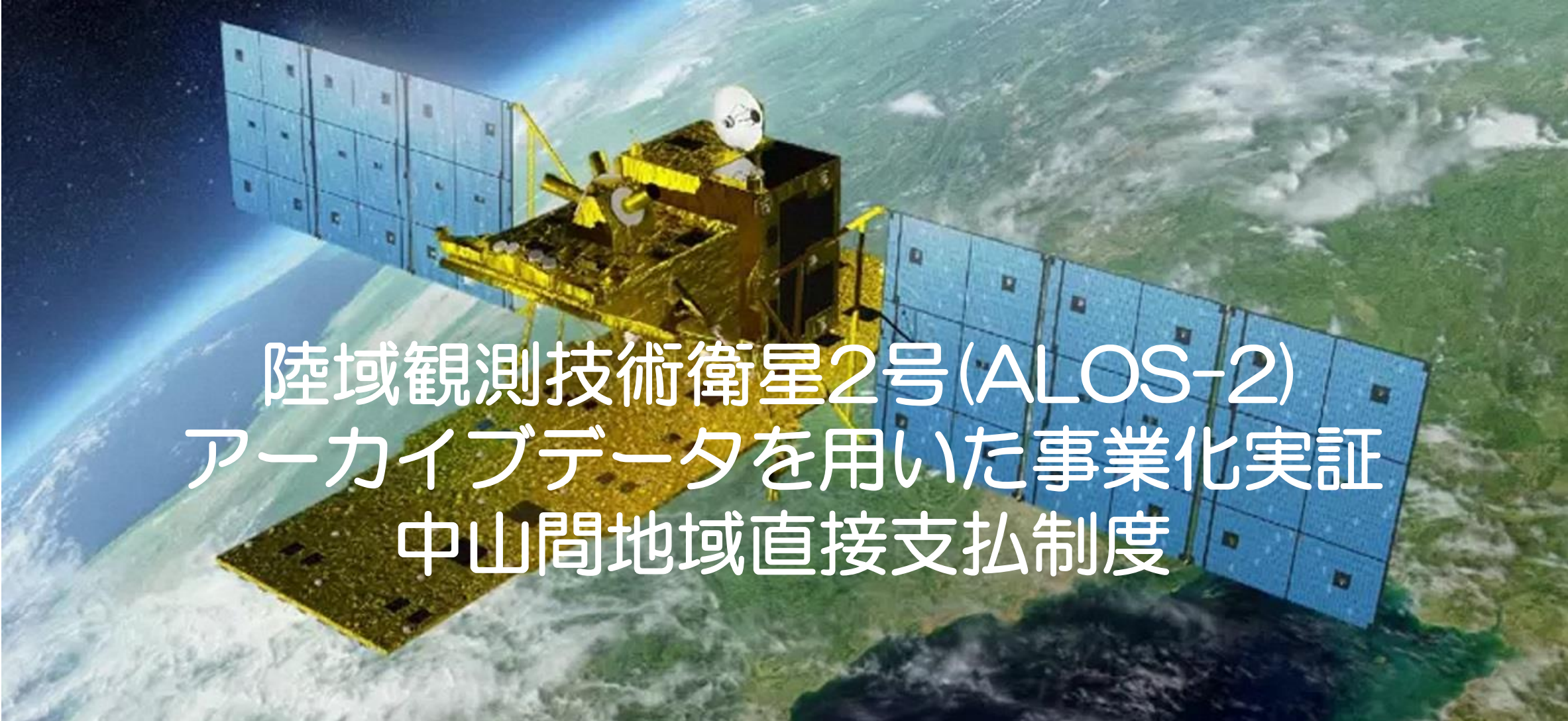
さらに・・・



この取組みを広くPRすると同時に、地域の視察メニューを造成。他市町村の農業委員会の視察研修を積極的に誘致し、観光振興と地域振興につなげることを目指しています。



陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)による実施状況確認調査について



陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)
アーカイブデータを用いた事業化実証
中山間地域直接支払制度



宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門
衛星利用運用センター ALOS-2担当

陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)による実施状況確認調査について

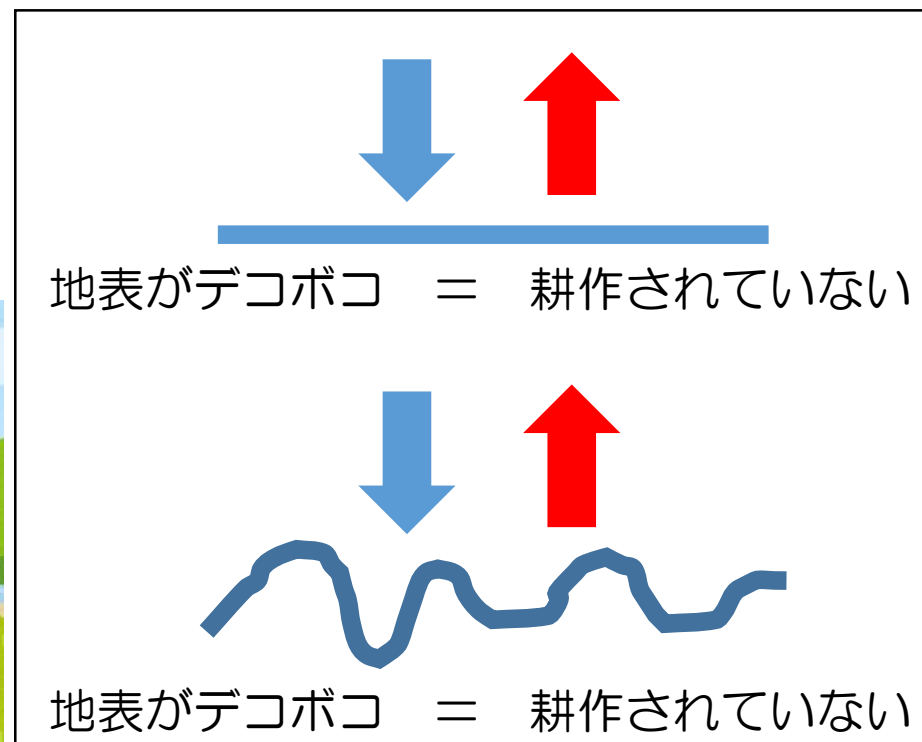
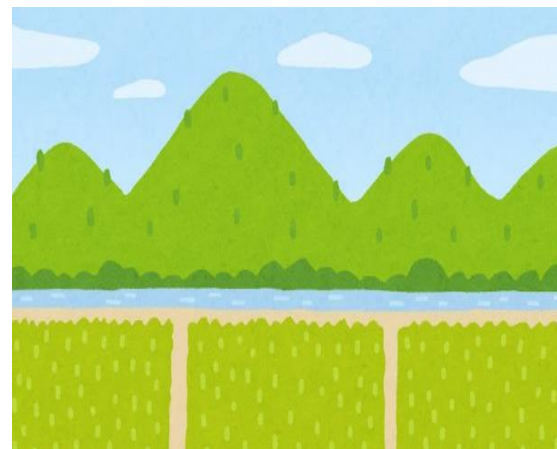
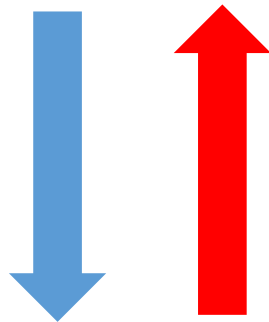
マイクロ波を照射
&
跳ね返りをキャッチ



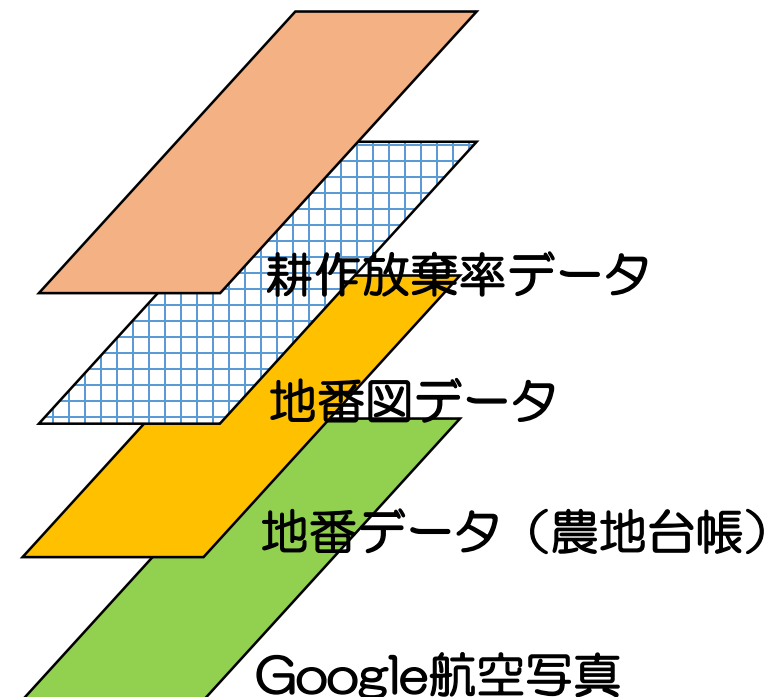
耕作されていない農地を
タブレットに表示



耕作しているかどうかあやしい
農地のみ目視による現地確認を行う



<ACTABA>



農地状況把握アプリ「ACTABA（アクタバ）」について

ご清聴ありがとうございました。
視察研修は是非下呂市にお越しくください。(笑)



下呂市農業委員会